

米起國際的波瀾

北米駆逐艦六隻 伯國海軍へ貸與の議案

米閣上院に提出反對論者々々

北米政府とブラジル政府間
に秘密裡に交渉進行中であ
った。
「豪艦年終に達したる北米
駆逐艦六隻を米政府が伯國
に貸與するの件」
は、先づ米閣議成立北米六統
領ルーズベルトの示唆に應
じて上院海軍委員委員長ウオ
ルシエは通上院に同案提出、之
が通過の時は北米政府は前記の事
項を實施するに必要なる権限を固
會より附与される事とあるに立ち
至つてゐるが、俄然この二エース
は國際間に一つの波瀾を捲起すに
至つた。

北米は他國に貸與するときは何等
の人員も要せず好状態に保持する
を得、一旦戦急の場合北米海軍
に於て之を借用し得る、四他米
洲諸國に對しても同様の老朽艦貸
與を示す
斯くて善隣政策の美を擧げると云
ふにあり、老朽艦貸與は伯國に於
て海軍の練習艦としての利用ひら
れて技術上の援助をなすに過ぎず
若し戰局的行為に使用されんとす
る場合には米政府は之に對して艦
機應變の心置よとあるに於てゐる

米政府

か與議議員を通じて本
案を上院に提出するに
至つた理由は(一)伯國政府は世界
政府の趨勢中或る國家が資源發
達の意向を有し、其の目的達成の
ために強行手段を講じたこと云ふ事
實に對し國家として遺憾を感じて
ゐる、(二)然して斯る遺憾に感ず
て米洲の國家が外國政府の援助を
求める場合には、米政府として自
國より此の種の求援國に對しては
援助を與へることが好ましい、(三)
一方使用せざる老朽艦は、是れは
多大なる費用を要する、然し乍ら

海運界躍進の波に乗って

川崎汽船がマゼラン海峡迂回線開始

明年二月から大阪商船と仲よく武港へ貨物を吞吐

脚一人二路航米南

近時我國の海運界が歐洲
大戰當時に及ぶ般般漲り
之見せであることは世間
周知の事實であるが、こ
の躍進に於て船腹の方
は常に不足を感ずるとい
ふ状態を呈してゐるに鑑み各会社
競つて新造船に着手、一方政府は
今回の北支事變動後船腹短絀を
救として外國貨物船の日本籍船社

路航線を閉鎖した、先は通信業よ
り國家手厚の一ツとして提出され
前議案を通過する七月一日より実
施される不定期船に對する遠
洋航路補助により、川崎、大同、
際、山下、三井等各船社の積極的世
界各港回航す航線が促進されるに至
つた、就中回航航路に於て太平洋
横断に十日と二十時間の驚くべき
記録を確立した優秀貨物船聖川丸

るが、之に對し米國內の平和主義
者不戰論者の請願団体は
「之は單なる技術上の援助の問題
では無く、現下世界の最大関心事な
る軍備の問題に關連してゐる事實で
あつて、軍事の援助の一種の見做
し得べく事柄は政府の考へてゐる
程簡單なものではない」
と政府の慎重考慮を要望してゐる、
又米洲諸國間に於て本問題に對
する具體的の反對意見の第一声を
放つた聖國の

「フレンサ紙」は(一)伯國は資源
豊富手放を危懼してゐると云ふが
一體その米洲の平和を脅かせんと
する國は何國であるか、斯る國が
あるとすれば之は單に米伯兩國間
の事ではない、

は老朽艦貸與契約成立せうの
では解決すべきものでなく、米洲
平和會議の精神に則り米洲諸國間
に對策精究のための外交交渉が向
始さるべきである、(二)米洲の一國
が求援する場合歐洲諸國も之に應
じて老朽艦を貸與し以て其の勢力
地盤を擴張せんと試みるべく、
斯くては米洲の一國と外國との間
に勢力の外交、通商の聯繫が
失上り中立政策の保持は至難であ
るであらう、(三)老朽艦維持費削減
と云ふ事は單なる米國の内閣紛議
問題であつて、それが爲に國際的
紛争を惹起する處の軍備關係の契
約を成立せしむる事は許さぬ、
四北米は伯國米洲諸國に對しても
一律に老朽艦貸與の意向を有する
と云ふが、斯る場合南米諸國は急
激に軍備充実、事態は如何に推移
するとも計り難い、

の外多數優秀船を有する川崎汽船
会社では今回智利バルパライソ港を
終点とする南米太平洋沿岸航路を
マゼラン海峡迂回線に當て入港まで延
長を企圖、愈々明年二月より優秀
貨物船六隻を逐次、一月一回アラス
カイルス港着発を實施、既定地盤
を有する大阪商船と仲よく武港へ
貨物を人と吞吐する事になつた、
國は川崎汽船会社の並市代理店
J・E・T・U・R・N・A・Y 商會であ
る。

艦の伯國貸與は米國の軍事目的
對伯國の強化であり、米洲平和
會議の趣旨に反する、と論じて居
り、今や同問題に對し米伯兩國間の
問題として止まらず國際的に拡大
しつつある。

相変らず應募者殺到

第二回恤兵救済會

第二回救済會募金開始さる、ヤ
豪國の赤誠も少し難く相変らず應
募申込殺到、日會の調べでは三日間に
既に四百四十四ペソに上つてゐる

熊本海協支那總會

支那の本
年度(一九二二)支那總會は来る十五日
午後三時より、たるま、支那總會
沖繩海協の時局講演會

沖繩海協の時局講演會

支那の時局講演會は同月五日午後六時より
同會内で時局講演會と同く支那の
花田武官 智和出張中の花田武官
は十七日頃帰武の予定

商船着発

らぶらた丸	八月十五日入港
はわい丸	八月廿五日入港
ぶえのす丸	九月九日入港
	九月十六日入港

大阪商船会社支店

寄稿

故國の友へ 稿 晃

神智と書くに何かしら日本人的なものを感ずる。煩悩の日常生活の時折に君、君は僕への理想に達することがあります。恐らくおいてせう。それは君達が過去の遺憶にでも花が咲いたその瞬間は僕の名前位は出るかも知れないが、こちらも其の通りです。然し故郷とか竹馬の支とかを想い出す時もありことはないが、そんな時はやはり人生とは永いものな、と感ずる。一別以来秋へると約十年に於ける気が付いた折で、いと涙りながら出まわすから取らぬ。一、二葉の上り次第。三治線の先頭に立つ君達三十男は現実から離れた事柄には何んか云つても興味がない。せうが、君や御両親其の他の方々に何年振りがて僕が故郷へ挨拶すると思つて見て呉れ給へ。

故郷の山河と云ふ小説的言葉があるが、あのA村T部落方面は山河そのものが変形されて行くのでせう。Y市の膨脹つまり隣接の町村が合併せられて昔つての村の生活形態がすっかり破壊せられ、今では随分と町の人気も悪くない。たのびはよいですか。故郷が遠く、形までもつてゐる。帰郷者にも

住んでゐる僕にさえ解つたやうで、解つて居るのだから、日本人は、そのうちでどんぶり暮らししてゐるのかと訊かれても一口に返事は、勿論出来ません。在米同胞六千とか云ふてゐるが、又多面的にそれこそピンからキリまであるもので、三井三菱其の他、こちらで六千箱ですか、近頃いや以前から可成り取寄せてゐるものでせう。其の方面とは偏見の通り関係が、無いかう解らぬが、日本の妻揚子や重の子たわし等は既にどうか、市中に散見してゐるし、或は更に極はどいものか日本人の手には、つて来てゐるかも知れません。全く世界を歩く現代商品の動きは、一寸では解らんものでせう。

面白いのは、腕一本から出発して、毛唐に欺されたり、欺したりの余り聞かぬ。日本人同士や同業人同士で可成り深刻な喧嘩をした。又借金で動けなくなつたり、先には商人生活の峻険を突撃して、今では何れも高級車でも、自家用を悠々と運転する在米何年と云ふ人達も数へればあるものでせう。地方は知らぬが、アエノス市及び其の附近の日本人間に頼母子講と云ふ、一寸現代は消れたら珍らしい経済機構が、それは沢山あるのです。つまり銀行からは認められず、個人間には金の融通が付かぬ、と云ふので出来たものでせう。

どうかして其の頼母子講が、つれづれに限り家族的な信用経済の、すから兵に悪くもいふらしいのです。處が、この頼母子講をめぐつて悲劇どころか苦勞の種と云ふ、又谷間人の商売工合が、それはとても正確に予測できるのだから、面白いです。

誰か、昔つてアメリカ方面に、未だゐる日本人中では、アエノセンの在留者が最もインテリだ、と云ふた様ですが、果してどんぶりですか？ 僅か六千人の中に、印字新聞が四、五発行されてゐます。最近では、勿論日刊ではありません、どう思ひますか。職業的には、邦人の存在は、それ相当地に知られてゐます。が、当国流の社会生活でも、云ひますか、さういふ立場から見ると、毛唐との頼母子講が、本格では、ない様です。それは、何と云つても、尻を打つて、時、科學的の頭腦を、持つてゐても、動機正直であつても、下手に無理する資金の運轉と、稍々もすると、卑屈で思案場的なものが、こゝ差引きは、あるかと思はれるので、

ガソリンと、香水の匂ひを、絶向の自動車がかきまわすアエノス市、アエノス街頭は、折々見かける日本人の顔は、まだ、かう何か他人の、先でも通るやうな、気が、現はれてゐる事があります。乗合自動車、で、パツパツと出合つた相手の顔が、週間に比して、どうも余り、貧弱な、御互ひに、そのまゝ、知らん、頼して、了らぬ、す、向も、腹の中、では、別は、どうと云ふ理由は、絶体、に、あり、です、だ、こゝも、未だ、早々、です、と、相手、の、白、入、る、も、が、全然、解つて、る、か、い、か、う、こゝも、未だ、早々、少、い、ら、い、です、。又、世の中、こゝも、白、入、り、の、氣、持、は、或る、程度、に、把握、して、ゐる、人、達、は、勿論、誰、に、会つて、も、立派、に、普通、の、です、。い、け、ぬ、い、の、が、ど、の、ど、つ、ち、つ、か、ず、の、中、同、の、連、中、で、せう、。要、す、る、に、知、ら、ぬ、日、本、人、の、顔、を、み、て、わ、く、く、ソ、ソ、ボ、を、向、く、様、は、其、の、人、の、海外、生活、は、どう、観、ても、ま、ま、大、した、こと、は、ない、で、せう、。男、で、さ、へ、か、う、です、から、日、本、か、う、未、だ、ま、だ、間、も、あ、く、毛、唐、の、れ、れ、れ、い、い、い、奥、さん、達、は、人、の中、へ、出、て、や、つ、ぱ、り、相、当、肩、身、の、狭、い、思、ひ、を、人、知、れ、ず、する、の、で、は、ない、か、と、御、察、し、する、時、が、あ、る、の、で、す、。奥、さん、と、云、へ、は、君、の、妹、の、お、蔭、で、ち、や、ん、も、今、では、どう、に、立、派、な、奥、さん、に、あ、つて、ゐる、の、で、せう、。今、だ、か、う、白、状、する、が、あ、る、の、で、せう、。い、や、く、も、つ、つ、の、氣、の、利、の、を、是、に、内容、の、面、い、もの、を、は、知、ら、せ、や、う、と、思、ひ、が、ら、い、。終、ひ、こゝも、云、ひ、を、書、いて、済、ま、さ、い、。今日、は、こゝで、失、敬、す、る、。(第一信終り)

漢和辞典は
藏田書店へ